

アジア安全保障会議のシンポジウムで「安全保障協力の新たなパターン」をテーマにスピーチする山崎統幕長(右から3人目)=6月1日、シンガポールのシャングリラホテルで



会议の参加者の規模をふくらませたのは、米中、米露の関係悪化や、米朝関係の行き詰まりなどが関心を高めたことや、中国の国防大臣が8年ぶりに出席したことがあつたと思われる。これまでの中国は人民解放軍副參謀長クラスを出しておらず、賈慶応答のやり取りなど、パンチに欠けるところがあつた。

例年と同じく、今回も米国代表がトップバッターで、シャナハン国防長官代行であったが、まだ国防長官としての議会承認を得ていなかつたことで威信を誇示することになつたのは残念であつた。

## シャナハン米国防長官代行が トップバッター

会议の参加者の規模をふくらませたのは、米中、米露の関係悪化や、米朝関係の行き詰まりなどが関心を高めたことや、中国の国防大臣が8年ぶりに出席したことがあつたと思われる。これまでの中国は人民解放軍副參謀長クラスを出しておらず、賈慶応答のやり取りなど、パンチに欠けるところがあつた。

例年と同じく、今回も米国代表がトップバッターで、シャナハン国防長官代行であつたが、まだ国防長官としての議会承認を得ていなかつたことで威信を誇示することになつたのは残念であつた。

## 深化する英仏の関与

これ以外に、英仏の国防大臣がいざれもインド太平洋地域の動向に強い関心を示したのは興味深かつた。

両国はいずれも南シナ海の航行の自由を確保することの重要性を強調した。その上で、英国はこれまでほとんど注目されなかつたカタカニア防衛協定(参加国は英國、マレーシア、シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド、1971年発足)の重要性について度か言及した。

また、フランスは南太平洋の自國であるボリネシアやニューカレドニアなどの「主権」に言及した。いざれも直接的に中国の東南アジアや南太平洋への進出に対する警戒を示していた。この会議は何かを決議するのではなく、関係国の国防相がそれぞの国防政策や考え方を披露し、参加者やメディアと対話し、宣伝することを目指している。その点ではシヤングリラ・ダイアローグは大いに成功していると言えよう。

# 中国国防相の出席がハイライト

「アジア安全保障会議」に出席して

西原 正氏



るのであれば、我々にはすべての犠牲を払って戦うという選択肢しかない、「他国が中国を餌食にしたり、分裂させたりすることは許さない。対話をしたいのならば、ドアは開いている。戦いたいのならば、最後まで戦う。準備ができる」というなど反撃的な表現で応じた。

米中関係の現状は中国側が守勢に立つており、中国はこの機会に国防大臣を送り込んで、劣勢を少しでも挽回したいという意図を感じた。したがって発言の多くがプロパガンダと挑発的な発言だったので、私は「付き合いにくい国だ」と痛感した。

## 反撃的な中国国防相

「南シナ海の島嶼は中国の領域であり、そこを守るのは当然である」、「中国は南シナ海ではだれにも脅威を与えていない」、「カンボジアに中国の軍事基地を置くことはない」、「中印国境は安定している」などと云い、次いで「他国が台湾の分裂を図をした。

「南シナ海の島嶼は中国の領域であり、北朝鮮の非核化を実現するため国際社会の団結を呼び掛ける岩屋防衛相(6月1日、シンガポールのシャングリラホテルで)」  
――防衛省提供

これに対して、翌朝の最初の講演者となつた中国の國務委員兼国防部長(国防相)である魏鳳和(上将、前ロケット司令部員氏は、終始語調を強めて威圧的な講演をした。

「南シナ海の島嶼は中国の領域であり、北朝鮮の非核化を実現するため国際社会の団結を呼び掛けた岩屋防衛相(6月1日、シンガポールのシャングリラホテルで)」  
――防衛省提供

## 北の非核化で熱弁

最初のシャナハン国防長官代行の後、岩屋防衛大臣が韓国の鄭景斗防衛大臣とE.Uのモゲリニ外交安政上級代表とともに登壇し、日本の防衛政策について聞き取られやすい英語で講演した。

北朝鮮の非核化の完全履行のためには、地域友好国との連携強化を進めるとともに、台湾の自衛力強化を支援するとともに強調して、台湾の独立を阻止する中国を牽制した。

## ふるつた岩屋防衛相

はできなかつた。しかし、それでも「米国は信頼に基づく包括的柔軟な安全保障のネットワークを構築し、自由で開かれたインド太平洋を支える」と力説して、「南シナ海などで中国は他の主権を侵害すべきではない」と主張し、日豪などの同盟国や地域友好国との連携強化を進めるとともに、台湾の自衛力強化を支援するとともに強調して、台湾の独立を阻止する中国を牽制した。

北朝鮮の非核化の完全履行のためには、地域友好国との連携強化を進めるとともに、台湾の自衛力強化を支援するとともに強調して、台湾の独立を阻止する中国を牽制した。

北朝鮮の非核化のために、岩屋防衛大臣が韓国の鄭景斗防衛大臣とE.Uのモゲリニ外交安政上級代表とともに登壇し、日本の防衛政策について聞き取られやすい英語で講演した。

北朝鮮の非核化の完全履行のためには、地域友好国との連携強化を進めるとともに、台湾の自衛力強化を支援するとともに強調して、台湾の独立を阻止する中国を牽制した。



シンガポールのチャングイ地区で開催された「IMDEX Asia 2019」に参加するため、チャンギ海軍基地に寄港した海自ヘリ搭載護衛艦「いずも」を観察する同国のウン国防相(中央)とエスコートする山村謙群司令(同左)、江川宏海幕長(その右)、江川宏1護群司令(同左)  
――5月14日IMDEX Asiaのホームページから